

お知らせ

日本熱帯農業学会 平成 25 年度総会ならびに第 115 回講演会

期 日 2014 年 3 月 27 日 (木)・28 日 (金)
 場 所 東京大学農学部 (弥生キャンパス)
 事務局 〒 113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1
 日本熱帯農業学会第 115 回講演会運営委員会
 運営委員長 岡田謙介
 運営委員 小林和彦・鴨下顕彦・高橋太郎
 TEL : 03-5841-0770 FAX : 03-5841-5539
 E-mail : akokada@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp (岡田 : 参加・講演申込等)

参加費 一般 : 5,000 円, 学生 : 3,000 円 (要旨集代を含む, 当日受け付けます)

懇親会費 一般 : 4,000 円, 学生 : 2,000 円 (当日受け付けます)

発表者について 発表者は会員に限ります。入会されていない方は発表当日までにご入会ください。

受付 7 号館 B 棟会議室 (3 月 27 日 (木) 9:00 ~, 28 日 (金) 8:30 ~)
 会場

第 1 日 3 月 27 日 (木)	第 1 会場 (7 号館 B 棟 231/232 講義室)	第 2 会場 (7 号館 A 棟 104/105 講義室)
9:30 ~ 12:00	研究発表 (講演番号 1 ~ 10)	研究発表 (講演番号 11 ~ 20)
第 3 会場 (弥生講堂一条ホール)		
13:00 ~ 14:00	総 会, 学会賞・磯賞授賞式	
14:00 ~ 15:00	受賞記念講演会	
15:00 ~ 17:45	公開シンポジウム「途上国の栄養問題の解決に向けた農学と医学の協働」	
18:00 ~ 19:30	懇親会 (生協食堂 3 号館地階)	

第 2 日 3 月 28 日 (金)	第 1 会場 (7 号館 B 棟 231/232 講義室)	第 2 会場 (7 号館 A 棟 104/105 講義室)
9:00 ~ 12:00	研究発表 (講演番号 21 ~ 32)	研究発表 (講演番号 38 ~ 49)
13:00 ~ 14:15	研究発表 (講演番号 33 ~ 37)	研究発表 (講演番号 50 ~ 54)

日本熱帯農業学会第 115 回講演会プログラム

第 1 日 3 月 27 日 (木)

English presentation

		第 1 会場 (7 号館 B 棟 231/232 講義室)			第 2 会場 (7 号館 A 棟 104/105 講義室)
開始時刻	座長	講演番号. 講演題目 著者 [*発表者] (所属)	座長	講演番号. 講演題目 著者 [*発表者] (所属)	
9:30	塩津文隆 (茨城大学)	1. <input checked="" type="checkbox"/> Historical landscape affects present tree density in paddy field *Ha T.Pham ¹ ・Shuichi Miyagawa ² (¹ United Graduate School of Agriculture, Gifu University, ² Graduate School of Applied Biological Sciences, Gifu University)	菊野日出彦 (東京農業大学)	11. ケナフの形態・生理に関する研究 第十三報飼料利用を考えた水田栽培ケナフ (<i>Hibiscus cannabinus</i> L.) の生育に及ぼす異なる灌漑条件の影響 *志水勝好・柴山美智子・石川尚人 (筑波大生命環境系)	
9:45		2. インドネシア中部ジャワ水田の SRI 農法 : 水管理の特徴と水稻生育への影響 *鳥山和伸・横山繁樹 (国際農林水産業研究センター)		12. 西南暖地における食用カンナの生育および収量性に及ぼす早植の影響. *山本由徳・戸部美紀・宮崎 彰・田中伸行 (高知大農学部)	

10:00		3. Assessing acceptance of the System of Rice Intensification (SRI) among farmers in rainfed lowland conditions of Southern Cambodia *李允鎬・小林和彦 (東京大院農学生命科学研究科)		13. 低 pH・Al 処理に対するアズキ近縁野生種 90 系統の生育反応 *江原 宏 ¹ ・木場理恵 ² ・吉田純子 ¹ ・北村真世 ² ・友岡憲彦 ³ (¹ 三重大院生物資源学研究科, ² 三重大生物資源学部, ³ 農業生物資源研究所・遺伝資源センター)
10:15		4. Resilience of rice production in Red River Delta under changing climate conditions *Yen Thi Bich Nguyen ¹ ・Akihiko Kamoshita ² ・Van Thi Hai Dinh ¹ ・Hirotaka Matsuda ³ ・Hisashi Kurokura ⁴ (¹ Faculty of Environ., Hanoi Univ. Agriculture, ² ANSEC, Univ. Tokyo, ³ Graduate School of Frontier Sci., Univ. Tokyo, ⁴ Graduate School of Agricultural and Life Sci., Univ. Tokyo)	村中聡 (国際農林水産業研究センター)	14. <i>Vigna</i> 属植物 3 種の塩ストレスに対する生育および生理反応特性 江原 宏 ¹ ・*吉田純子 ¹ ・木場理恵 ² ・北村真世 ² ・友岡憲彦 ³ (¹ 三重大院生物資源学研究科, ² 三重大生物資源学部, ³ 農業生物資源研究所・遺伝資源センター)
10:30	小林和彦 (東京大学)	5. Characterization of agricultural production in buffer zone communes surrounding Xuan Thuy National Park, Vietnam *Van Thi Hai Dinh ¹ ・Akihiko Kamoshita ² ・Yen Thi Bich Nguyen ¹ ・Hirotaka Matsuda ³ ・Hisashi Kurokura ⁴ (¹ Faculty of Environ., Hanoi Univ. Agriculture, ² ANESC Univ. Tokyo, ³ Graduate School Frontier Sciences, Univ. Tokyo, ⁴ Graduate School Agricultural and Life Sciences, Univ. Tokyo)		15. Comparison of three screening methods of salt tolerance and transferability of SSR markers of related legumes in <i>V.vexillata</i> (tuber cowpea) *Rusama Marubodee ¹ ・Sompong Chankaew ² ・Takehisa Isemura ³ ・Norihiko Tomooka ³ ・Kotaro Iseki ³ ・Takahashi Yuu ³ ・Chiaki Muto ³ ・Ken Naito ³ ・Hiroshi Ehara ¹ (¹ Graduate School of Bioresources, Mie University, ² Kasetsart University, ³ NIAS Genetic Resources Center)
10:45		6. インドネシアバリ島における近年の稲作栽培の状況ー有機栽培の取り組みー *塩津文隆 ¹ ・坂上伸生 ¹ ・浅木直美 ¹ ・Dewa Ngurah Suprpta ² ・小松崎将一 ¹ ・新田洋司 ¹ (¹ 茨城大, ² ウダヤナ大学)		16. 開花期・子実肥大期における塩ストレスが耐塩性の異なるダイズ品種の生理と収量に及ぼす影響 *上田 憲・樋口浩和 (京都大院農学研究科)
11:00		7. マーカー育種によるイネの収量を増加させる遺伝子 SPIKE の熱帯アジアの普及品種への導入 *小林伸哉・藤田大輔・佐々木和浩・E. V. Simon・R. B. Gannaban・石丸 努 (農研機構・作物研究所)		17. ウコン属植物の根茎収量, 精油の含有率および構成成分の種・系統間差異 *椎野由佳理・宮崎 彰・大谷慶人・山本由徳 (高知大農学部)
11:15	杉浦誠 (農研機構・近畿中国四国農業研究センター)	8. The GAP standard and its influence on pesticide use in asparagus farming in Ratchaburi Province, Thailand *Javier Montano・Supamard Kanichsagdipathana・縄田栄治 (京都大農学研究科)		18. Analyzing varietal difference in earliness of tuber growth and development of simple screening index to evaluate tuber growth and maturity in <i>D. rotundata</i> and <i>D. alata</i> *松本 亮 ¹ ・村中 聡 ¹ ・Antonio Lopez-Montes ² ・菊野日出彦 ^{2,3} ・山中慎介 ¹ ・Babil Pachkikil ¹ ・高木洋子 ¹ (¹ 国際農林水産業研究センター, ² IITA, ³ 東京農大)
11:30		9. キャベツセル成型苗におけるMDA (Malondialdehyde) 含有量と耐暑性・耐凍性の関係 五十嵐大造・*酒井静香・森田恭平・篠原 卓・井上知昭 (東京農大短期大学部)		19. 摘葉と短日処理がトゲドコロの生育およびイモ肥大に及ぼす影響 *遠城道雄・宮崎 冴香・深澤元紀・朴 炳宰 (鹿児島大農学部)
11:45		10. ササゲの調理および味の特性についての品種間差異の解析ーササゲの付加価値化にむけてー *村中 聡 ¹ ・W.M. Yameogo ² ・武内純子 ³ ・妙田貴夫 ³ ・高木洋子 ¹ (¹ 国際農林水産業研究センター, ² INERA, ³ 東京農大)	20. インドネシア, 南スラウェシ州タナ・トラジャにおけるサトウヤシ (<i>Arenga pinnata</i> Merr.) の葉形質 *山本由徳・吉田萌実・石間裕人・Manselinus・Y.B.Pasolon・F.S.Rembon・吉田徹志・宮崎彰 (高知大農学部)	
12:00	昼休み			
	第3会場 (弥生講堂一条ホール)			
13:00	総 会, 学会賞・磯賞授賞式			
14:00	受賞記念講演会			

15:00	<p>公開シンポジウム 「途上国の栄養問題の解決に向けた農学と医学の協働」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・途上国における栄養不良克服のためのポジティブデビエント・アプローチ 神馬征峰 (東京大学大学院医学系研究科) ・パプアニューギニア高地人の栄養と健康に関する見方と食環境への生理的適応 田所聖志 (秋田大学国際資源学部) ・アフガニスタンでの農業再興と住民の健康改善への協力 上堂園 明 (国際協力機構) ・世界の栄養問題と食遷移 小林 和彦 (東京大学大学院農学生命科学研究科) <p>コーディネーター：岡田謙介 (東京大学大学院農学生命科学研究科)</p>
18:00	懇親会 (生協食堂 3号館地階) 19:30 終了予定

第2日 3月28日 (金)

[E] English presentation

		第1会場 (7号館B棟 231/232 講義室)			第2会場 (7号館A棟 104/105 講義室)
開始時刻	座長	講演番号. 講演題目 著者 [*発表者] (所属)	座長	講演番号. 講演題目 著者 [*発表者] (所属)	
9:00	田中淳子 (アフリカ稲センター)	21. [E] Effects of nitrogen application on lowland rice and off-season yam cropping applied on Derived Savanna zone in Nigeria *Hidehiko Kikuno · Hironobu Shiwachi · Yuichi Hasegawa · Junya Ohata · Robert Asiedu · Hiroko Takagi (Tokyo Univ. Agriculture, Miyako Sub-Tropical Farm)	牛尾峻之 (神内南方系果樹研究所)	38. マンゴーの実生樹と接ぎ木樹における耐冠水性の差異 * 佐伯 爽 · 岩崎直人 (明治大農学部農学科)	
9:15		22. 畑地・水田条件下における陸稲NERICAの生育 * 松本俊輔 ¹ · 坪井達史 ² · Godfrey Asea ³ · 丸山敦史 ¹ · 菊池真夫 ¹ · 高垣美智子 ¹ (¹ 千葉大, ² 国際協力機構, ³ National Crop Resource Research Institute, Uganda)		39. マンゴー (<i>Mangifera indica</i> L.) 果実の形質の収穫期内変動に基づく調査標本数の推定 * 尾上 (牧志) 佑子 · 島袋由乃 · 棚原尚哉 · 島尻庸平 · 正田守幸 (沖縄県農業研究センター名護支所)	
9:30		23. ウガンダ陸稲圃場における長期連用施肥が土壌理化学的・生物性に及ぼす影響 (予報) 犬伏和之 ¹ · * 花澤俊祐 ¹ · 後藤明生 ² · 松本俊輔 ¹ · 時田邦浩 ² · 坪井達史 ² · 菊池真夫 ¹ (¹ 千葉大院園芸学研究所, ² 国際協力機構)		40. 結果枝の発生位置がパッションフルーツの収穫期と果実品質に与える影響 椎木千晴 (千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所)	
9:45		24. タンザニア, キロンベロ谷由来のイネ品種における日長反応性 * 加藤 太 · 倉内伸幸 (日本大生物資源科学部)		41. 液肥のカルシウム濃度がパッションフルーツの果実品質におよぼす影響 * 近藤友大 · 樋口浩和 (京大院農学研究科)	
10:00	鴨下顕彦 (東京大学)	25. ケニア西部ビクトリア湖岸地域に広がる稲作地域での稲作農家の稲作と農家経営の実態とに関する地域間比較 * 山根裕子 · 一條洋子 · 浅沼修一 (名古屋大農国センター)	香西直子 (国際農林水産業研究センター)	42. 受粉日の昼夜温がパッションフルーツの着果に及ぼす影響 * 松田大志 · 樋口浩和 (京大院農学研究科)	
10:15		26. Assessment of farmers' management practices in irrigated lowland rice over 2002-2010 in the Senegal River Valley * Atsuko Tanaka · Kazuki Saito (Africa Rice Center)		43. パッションフルーツの自然落果発生機構に関する研究 篠原 卓 ¹ · * 薄井瑞季 ² · 佐羽内彩香 ¹ · 五十嵐大造 ¹ · 井上知昭 ¹ · 寺田順紀 ² · 真田篤史 ² · 小塩海平 ² · 高橋久光 ² (¹ 東京農大短期大学部, ² 東京農大国際食糧情報学部)	
10:30		27. ガーナ内陸低湿地で水田水利施設に導入する被覆植物に必要な特性と評価方法 * 團 晴行 · 沖 陽子 · 広内慎司 (国際農林水産業研究センター)		44. パッションフルーツにおける合成オーキシンの離層周辺部への塗布が果実発育期間と品質に及ぼす影響 篠原 卓 · * 袴田恵未 · 五十嵐大造 · 井上知昭 (東京農大短期大学部)	

10:45	28. Rice yellow mottle virus 抵抗性の簡易検定法について * 滝沢真紀・池田良一・夏秋啓子・志和地弘信・入江憲治・鶴家綾香・小島伸幾・後藤明生 (東京農大院農学研究科)	45. パッションフルーツにおける施肥量および灌水頻度の違いが葉の耐寒性に及ぼす影響 篠原 卓・* 地曳公伯・竹内宥太・井上知昭・五十嵐大造 (東京農大短期大学部)
11:00	29. Rice yellow mottle virus 抵抗性イネ系統の育成 * 池田良一・小島伸幾・Maria Nsengiyunva・滝沢真紀・宮城琴音・夏秋啓子・鶴家綾香・後藤明生・松本俊輔・坪井達史 (東京農大農学部)	46. パインアップル「ジュリオスター」における高品質果実出荷体系の検討 * 與那覇 至・竹内誠人・長浜隆市・與那嶺 要 (沖縄県農業研究センター石垣支所)
11:15	30. ベナン中南部の灌漑稲作地における近赤外分光法導入による局所的養分管理の可能性 * 大野 慧 ¹ ・阿部 進 ² ・池羽田晶文 ³ ・岡田謙介 ¹ (¹ 東京大院農学生命科学研究科, ² 近畿大学, ³ 農研機構・食品総合研究所)	47. パインアップルのエテホン処理効果に基づく温暖化進行後の花芽誘導処理可能時期の推定 * 竹内誠人・諸見里知絵・與那嶺要・與那覇 至・阪本大輔・杉浦俊彦・正田守幸 (沖縄県農業研究センター名護支所果樹班)
11:30	31. 開発途上国向け水稲収量・収量構成要素調査法新井圭介 ¹ ・梶木信幸 ¹ ・* 庄司浩一 ² (¹ 国際協力機構, ² 神戸大学)	48. チェリモヤの年二回収穫での受粉時期と葉果比が収穫時期, 収量および果実品質に及ぼす影響 * 牛尾峻之 ¹ ・米本仁巳 ¹ ・岡山智彦 ¹ ・前田隆昭 ¹ ・水野宗衛 ² (¹ 神内南方系果樹研究所, ² 玉川大農学部)
11:45	32. インドネシアにおける <i>Capsicum chinense</i> の分布 * 山本宗立 ¹ ・Tutie Djarwaningsih ² ・Harry Wiradinata ² (¹ 鹿児島大国際島嶼教育研究センター, ² インドネシア科学院生物学研究センター)	49. ヤーコン新品種「アンデスの乙女」の生育特性 * 杉浦 誠・矢野孝喜 (農研機構・近畿中国四国農業研究センター)
12:00	昼休み	
13:00	33. [E] Geographical accessibility to healthcare, mother's status and stunting in Eastern Rwanda * Nael Aoun・Hiroataka Matsuda・Makiko Sekiyama (東京大院新領域創成科学研究科)	50. ベトナム北西部山岳地域のコーヒー生産と開発課題 西村美彦 (国際協力機構)
13:15	34. ベトナムとカンボジアの子どもの農業イメージの比較 * 小山浩実 ¹ ・鴨下顕彦 ² ・松田浩敬 ³ ・黒倉寿 ⁴ ・Yen Thi Bich Nguyen ⁵ ・Van Thi Hai Dinh ⁵ ・Men Roat ⁶ (¹ 東京大農, ² 東京大アジア, ³ 東京大院新領域, ⁴ 東京大院農, ⁵ ハノイ農大環境部, ⁶ カンボジア農業開発研究所社会経済部)	51. [E] Effect of soil and fertilizer types on GHGs emission and plant growth in oil palm plantations * Rosnaeni Sakata ¹ ・Shuzoh Shimada ¹ ・Hironori Arai ¹ ・Naho Yoshioka ¹ ・Ryo Yoshioka ¹ ・Kazuyuki Inubushi ¹ ・Hiroshi Aoki ² ・Narutoshi Kimoto ² ・Atsushi Sakamoto ² ・Lulie Melling ³ (¹ 千葉大院園芸, ² JCAM AGRI. Co. LTD., ³ Tropical Peat Research Laboratory Unit, Sarawak, Malaysia)
13:30	35. ベトナムの子どもの農業観に関する予備的な研究—ゲームによる公共性と授業による態度変容の解析— * 小山浩実 ¹ ・松田浩敬 ² ・Yen Thi Bich Nguyen ³ ・Van Thi Hai Dinh ³ ・黒倉寿 ⁴ ・鴨下顕彦 ⁵ (¹ 東京大農, ² 東京大院新領域, ³ ハノイ農大環境部, ⁴ 東京大院農, ⁵ 東京大アジア)	52. ラオスにおけるミツバチの伝統的利用に関する予察報告 園江 満 (日本大学生物資源科学部)
13:45	36. バングラデシュ・ハティア島におけるサイクロンからの生存手段と屋敷地林:PRA調査の応用 安藤和雄 (京都大東南ア研)	53. カメルーン東南部のカカオ栽培における庇陰樹の多様性 四方 簞 (東京大院農学生命科学研究科)
14:00	37. [E] Development at Program and Non Program villages: a comparative study * Md. Mizanur Rahman ^{1,2} ・Kazuo Ando ² (¹ Bangladesh Academy for Rural Development, Bangladesh, ² Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University)	54. ミクロネシア連邦ピングラップ島の居住地域における有用植物 * 川西基博 ¹ ・山本宗立 ² ・西村知 ³ (¹ 鹿児島大教育学部, ² 鹿児島大国際島嶼教育研究センター, ³ 鹿児島大法文学部)

圃晴行 (国際農林水産業研究センター)

樋口浩和 (京都大学)

山根裕子 (名古屋大学)

高橋太郎 (東京大学)